



# 宇治 リハビリテーション病院

自分らしさをとりにどす、精一杯のお手伝い

UJI REHABILITATION HOSPITAL

# 自分らしさをとりもどす、 精一杯のお手伝い

- 根拠と経験に基づくりハビリテーションを提供し、信頼される病院であり続けます。
- 信頼される医療を維持するため、日々の研修・研鑽に努めます。
- チーム連携により、安全な医療の提供に努めます。
- 患者さまの権利とプライバシーを守り、安心できる医療環境を築きます。
- 常に患者さまに寄り添い、思いやりのある医療の実践を心がけます。



## 病院概要

名称	医療法人せいふう会 宇治リハビリテーション病院	開院	令和5年7月1日
診療科目	内科・リハビリテーション科	病床数	回復期リハビリテーション病棟：88床
その他の事項	結核指定医療機関 生活保護法及び中国残留邦人等支援法指定医療機関 被爆者一般疾病医療機関 難病医療費助成指定医療機関	身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関 労災保険指定医療機関 労災保険2次健診等給付指定医療機関	

当院は生和会グループの一員です【2023年3月31日時点】

- 医療機関：16事業所 床数 合計 2,314床
- 施設・居住系サービス：16施設 定員数 合計 796人
- 通所・訪問系サービス：37事業所 通所系定員 合計 478人
- その他 居宅介護支援事業所 6事業所、地域包括支援センター 1事業所

## ● 理事長 ごあいさつ

医療法人せいふう会は1950年に兵庫県猪名川町の今井病院に始まり、その後70数年で、伊丹せいふう病院、阪神リハビリテーション病院、ほうゆうリハビリテーション病院、介護老人保健施設せいふう猪名川、ふれあい大島、せいふう若葉、グループホームせいふう北田原、杉生診療所と、兵庫県北東部から京都南部のそれぞれの地で医療、介護の施設を展開してきました。

2023年4月には今井病院が兵庫県川西市内に「川西リハビリテーション病院」として新築移転しました。そして7月には、ほうゆうリハビリテーション病院が京都府宇治市内に「宇治リハビリテーション病院」として新築移転しました。宇治リハビリテーション病院は、回復期88床を有し、外来診療、訪問診療、訪問看護の部門も引き続き運営していきます。今後も地域に密着し、地域から広く患者さまを受け入れるサブアキュートの役割も担っていく所存です。

当院は、もともと職員同士のチームワークがとてよく、患者さまにも温かい心で接することができるのが持ち味です。患者さまには入院中のみならず退院後も最善のQOLを目指すべく、各部門の職員一同、一丸となって対応し、高いレベルのリハビリテーションを提供していきたいと思っています。

医療、介護を取り巻く環境は常に変化しており、個々の患者さまごとに解決しなければならない問題は違いますが、私たちはつねに温かい心と手で、皆さまの幸せな日々を確立すべく努力していきたいと考えています。「順番待ちをしても入りたい、家族を託したい」と思っていたいただける病院でありたいと心より願っています。



植松 正保



## ● 病院長 ごあいさつ

当院は、ここ京都に40数年根ざした病院として、地域の方々の健康を守ってまいりました。日ごろより、患者さまから直にお気持ちやご要望をお伺いし、また近隣医療機関からもさまざまなご意見をいただくなかで、宇治・久世・山城北医療圏が置かれている医療状況にも広く目を向ける必要性を感じていました。ひいては「患者さまの期待に応える医療」を提供するためにすべきことは何か、どうすれば地域医療により貢献できるかを常に追求してきました。

その結果、患者さまが病気や外傷のための急性期治療を受けられた後、ご自宅や社会へ復帰されるまでを支援することこそ、当院に求められている役割ではないかという結論に至りました。この医療の実現には、リハビリテーション部門の拡充と、さらなる地域連携医療の強化が不可欠でした。

2018年11月に当院は生和会グループの一員となり、2020年6月には、生和会グループ内の法人統合により、当院は「医療法人晴風園ほうゆうリハビリテーション病院」となりました。さらに2023年7月には新築移転し「医療法人晴風園宇治リハビリテーション病院」となりました。これにより、医療設備や医療安全にこれまで以上の投資が可能となり、リハビリテーションのためのよりよい医療環境を築くことができました。

新体制のもと、患者さま、そしてご紹介をいただいた医療機関にもご満足いただける医療の提供を目指し、全職員一丸となって邁進してまいります。



羽瀨 義純

【経歴】  
1981年 京都府立医科大学 卒業  
2001年 6月より当院勤務  
医学博士  
日本臨床検査医学会  
臨床検査専門医

# まごころを込めた 最良のリハビリテーション医療を提供する

生活動作で「できた」と思う瞬間は、「小さなできた」の積み重ねの結果です。  
 私たちはその「小さなできた」に寄り添って喜び合えるまごころを持ってリハビリテーションを進めています。  
 また、専門教育で得た知識や最新のガイドライン、研究結果を参考にして、  
 その時に最良と思われるリハビリテーション医療を提供することに努めています。



## リハビリテーション機器紹介



ウェルウォーク WW-2000  
下腿麻痺に対するリハビリテーション支援ロボット



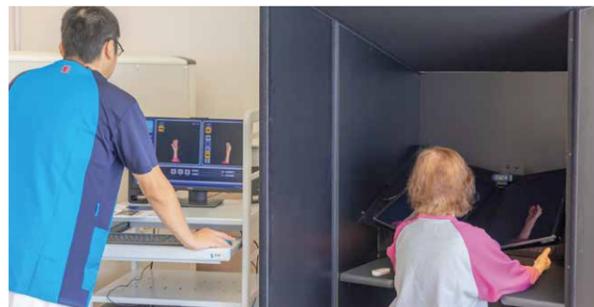
ダイナミック・ステアトレーナー・トリプル  
歩行や階段訓練の為の装置



HUR  
空圧式トレーニングマシン



MELTz(メルツ)  
手指麻痺に対する運動機器



KiNvis  
上肢麻痺に対する運動錯覚を誘発するシステム



ADLシミュレーション機器  
入浴・トイレでの動作を訓練する装置



## オーダーメイドリハビリテーション

退院後の充実した日常を取り戻すため、オーダーメイドのリハビリテーションプログラムを提案します。お一人お一人に合わせた最新の機器と自宅を想定した設備を活用し、「するリハビリテーション」をご提供いたします。「できない」を「できる」に変え、自宅へ帰ることに対する「不安」を「安心」に変えるために粘り強く、繰り返しの練習を行います。



## 一丸となったサポート体制

各分野の専門職がチーム一丸となり連携し、入院生活を支えます。回復期リハビリテーション病棟では入院生活の全てがリハビリテーションです。療法士等による専門的なリハビリテーションだけでなく、生活に即したリハビリテーションも提供。24時間 365日サポートいたします。また、退院後に不安を残さないようかかりつけ医や福祉関係者への情報提供や各種手続き支援も行います。



## 院内施設環境

各階とも窓を大きくとり、明るく開放的な空間となっています。  
4階のリハビリテーションセンターだけでなく、2階および3階の各病棟にもリハビリテーションスペースを設け、廊下の天井には歩行訓練のための距離を示すサインを施すなど、院内各所にリハビリテーションに対応した設備を備えています。



リハビリテーションセンター



リハビリテーションテラス



総合受付



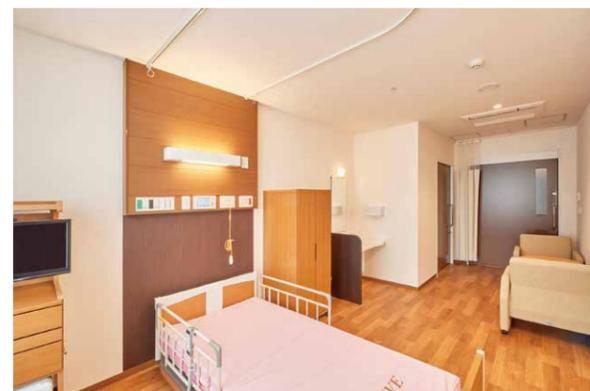
ラウンジ



CT室

## 病棟のご案内

病室は2階および3階です。4名室でもプライバシーに配慮して十分なスペースを確保し、ゆっくりと療養していただける空間をご用意しています。



1人室(トイレあり)



1人室(トイレなし)



2人室



4人室



機能訓練室



特殊浴室



個浴室



スタッフステーション



食堂・デイルーム



廊下

## 入院生活

# 入院生活の中で、 一人ひとりの生活に合わせた 日常生活動作を サポートいたします。

回復期リハビリテーション病棟は、食事、着替え、排泄など、入院生活そのものがリハビリテーションです。  
療法士による専門的なりハビリテーションだけでなく、生活に沿った病棟リハビリテーションを実施し、24時間365日サポートいたします。



### 一日の流れ

- 7:00 起床・顔面清拭
- 8:00 朝食
- 8:40 リハビリテーション
- 9:00 検温・処置  
又は  
リハビリテーション
- 12:00 昼食（状況に応じて食事訓練）  
口腔ケア
- 13:00 入浴 又は  
リハビリテーション
- 16:00 検温・処置 又は リハビリテーション
- 18:00 夕食・口腔ケア
- 19:00 就寝準備等
- 21:00 消灯・就寝

※患者さまの状態により変更する場合があります。  
※リハビリは計画に基づき、20分を1単位とし、1人1日最大9単位まで実施します。

### 食事・栄養管理



入院中の食事治療やリハビリの一環です。  
献立の面では、入院中でも四季を感じていただけるよう、さまざまな行事食を提供しています。特に京都ならではの食文化を伝える取り組みを行い、由来を書いたメッセージを添えるなどの工夫をして、毎回ご好評をいただいています。



## 入院のご案内

# 患者さまの目線に立った 「思いやり」の医療体制

地域医療機関等との入院・転院等の連絡調整、在宅医療や介護保険、福祉制度に関するご相談等について、地域連携部の医療ソーシャルワーカーが対応いたします。  
お気軽にお問い合わせください。



### 入院までの流れ



### 入院対象

疾患	病棟に入院できる期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発神経炎、多発性硬化症、 <small>わんしんけいそうせんしょう</small> 腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

# ご自宅での「できる」を一つでも多く 利用者さまの「歩みたい人生」に寄り添う 訪問リハビリテーション

リハビリテーション専門スタッフ(セラピスト)がご自宅等に伺い、実際に生活する場所や環境でリハビリテーションを行います。  
利用者さまの心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるとともに、ご家族へは介護についての提案、アドバイスを行います。

## サービス内容

- 健康状態のチェック(体温・血圧・脈拍測定、呼吸状態の確認)
- 起居、更衣、歩行、トイレ、階段の昇り降りなどの日常動作の練習
- 福祉用具、補助具の提案
- 住宅改修の提案
- ご家族への介護方法の提案、アドバイス

## 対象疾患

- 脳卒中
- 骨折
- 脊髄損傷
- 呼吸器
- 循環器
- その他

利用者さま、ご家族とともに訪問リハビリテーションの具体的な目標を設定し、訪問リハビリテーション計画書を作成します。

## ご利用までの流れ



## アクセスマップ



### 電車でお越しの場合

- 近鉄京都線 大久保駅より徒歩10分
- JR奈良線 新田駅より徒歩15分

### 車でお越しの場合

- 第二京阪道路 伏見ICより21分  
伏見ICより油小路通を南下、佐山交差点を左折し、府道15号を約2.1km直進し、右手
- 新名神高速道路 城陽ICより10分  
城陽ICより国道24号を北上、大久保田原の交差点を右折し、府道15号を約800m直進し、右手
- 第二京阪道路 久御山南ICより12分  
久御山南ICより佐山の交差点を右折し、府道15号を約2.1km直進し、右手
- 京滋バイパス 久御山ICより14分  
久御山ICより大内の交差点を右折し、佐山の交差点を左折し、府道15号を約2.1km直進し、右手

### バスでお越しの場合

- 京都京阪バス 緑ヶ原口停留所より徒歩1分



宇治リハビリテーション病院

入院の相談窓口（地域連携部直通）

入院についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

 0774-48-2120

受付時間：9：00～17：00（日祝除く）

医療法人せいふう会  
宇治リハビリテーション病院

〒611-0033 京都府宇治市大久保町井ノ尻43番1  
(代表) TEL：0774-48-2110 FAX：0774-48-2130

公式ホームページ



公式Instagram

